

冬の かぶくり沼

トビ
空をひらひら飛んでいる大きなワシの仲間は、トビです。翼の両側に白い斑があります。

雁行
ガンやハクチョウの仲間は、飛ぶときにカギ型やサオ型の隊列をつくります。

オオタカとノスリ
ヤナギの枝にときどきとまっています。

カモ
水面に浮かんでいる小さな水鳥は、カモの仲間です。マガモ、カルガモ、コガモ、オナガガモが多く、地味な茶色をしているのはメス。

チュウビ
翼をVの字にして空中を飛んでいるのはチュウビです。ときどきカモの群れに飛び込んで捕まえます。

マコモ
倒れている黄色い草はマコモです。地下茎に栄養がたくわえられているので、ハクチョウやオオヒシクイが掘り出して食べます。

オオヒシクイ
一日中沼にいて、マコモを掘り出して食べています。ときどきケンカして、ゴゴゴゴという大きな声を出すこともあります。

オジロワシ
無栗沼最強の鳥。運が良ければカモやマガンを空中で捕まえるのが見られます。

マガン
マガンは朝になると田んぼに飛んでいってしまうので、夕方まで帰ってきません。

ハクチョウ
オオハクチョウは、10月になると渡ってきて一日中沼で食べたり寝たりしています。コハクチョウは真冬になるともっと南へ行ってしまうです。

タゲリ
頭にビョンとアンテナのついた小さな鳥がいたら、それはタゲリです。緑色の金属色がとてもきれいです。

サギ
長い首を伸ばして、魚をつかまえます。真っ白いのがダイサギで、灰色のがアオサギ。

ツルシギ
足とクチバシが赤いシギの仲間です。

Kbukurikids